

# 2022年度 卒業生調査・企業調査について

## 卒業生調査

1. 調査目的：教育改善に資する基礎データの取得。学位プログラムを修了した本校の卒業生が、実際に「卒業認定・学位授与の方針」に定められた資質・能力の修得に資するものであったか、身に付けた資質・能力が進学先や就業先でどのように役立っているか等を明らかにし「学修成果・教育成果の把握・可視化」の一つの客観的データとする。
2. 調査対象：玉川大学卒業生(2013年度卒、2016年度卒、2019年度卒)
3. 調査方法：インターネットによるアンケート調査（委託先：株式会社リアセック）
4. 調査期間：2022年12月23日～2023年1月20日
5. 発送数：4,089人（但し、不達80人）
6. 回答数：473人（重複回答や必須項目未回答者は除外）
7. 有効回収率：11.8%（473/4,009）

### 【回答者内訳】

		合計	2013年度	2016年度	2019年度
全体		473	160	136	177
学部別	文学部	58	19	23	16
	農学部	73	22	20	31
	工学部	43	8	15	20
	経営学部	19	7	7	5
	教育学部	134	46	35	53
	芸術学部	73	30	18	25
	リベラルアーツ学部	46	18	11	17
	観光学部	27	10	7	10

## 8. 回答結果

### ① 科目ごとの学修熱心度と役立ち度

#### 【項目】

1.教養科目	2.専門科目
3.専門科目（演習・実験・実習）	4.ゼミ・卒業研究
5.情報科目	6.外国語科目
7.キャリア教育	8.企業等と連携した課題解決型学修（PBL）

#### 【配点】

##### ■熱心度：熱心に取り組んだ度合い

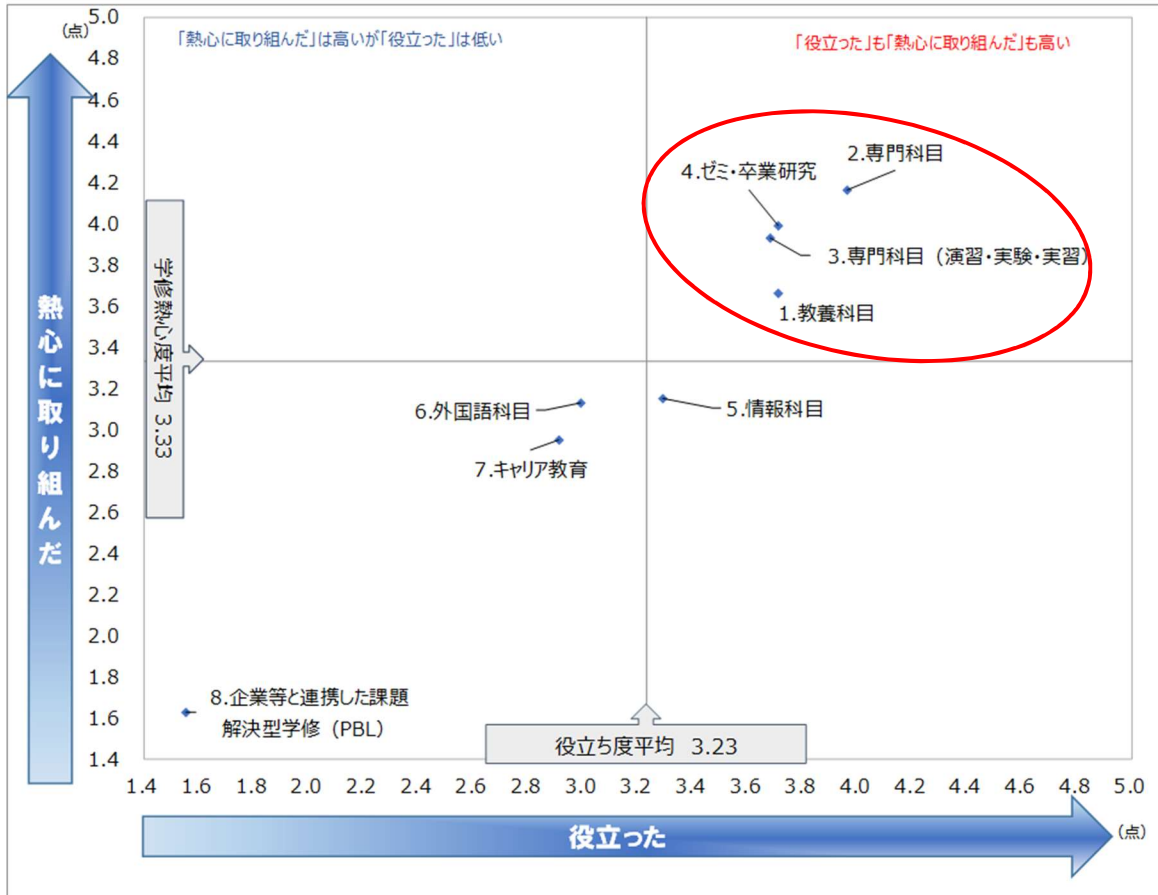
熱心だった：5点、どちらかという熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、どちらかという熱心ではなかった：2点、熱心ではなかった：1点、履修しなかった：0点として加重平均値を算出。（無回答は除く）

##### ■役立ち度：これまでの仕事に必要な知識・技術・態度にとって役立った度合い

役に立っている：5点、どちらかという役に立っている：4点、どちらともいえない：3点、どちらかという役に立っていない：2点、役に立っていない：1点、履修しなかった：除外として加重平均値を算出。（無回答は除く）

【結果（ポートフォリオ）】

全体（N=473）



② 社会（職場）で必要とされている能力と大学での修得度

【項目】

	ラベル	項目名	ラベル	項目名
対人基礎力	親和力	1. 他者との豊かな関係を築く能力	リテラシー	情報収集力
	協働力	2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力		情報分析力
	統率力	3. 場を読み、組織を動かす能力		課題発見力
対自己基礎力	感情制御力	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力	大学独自項目	課題発見力
	自信創出力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力		構想力
	行動持続力	6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力		多文化・異文化
対課題基礎力	課題発見力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力	文化・社会・自然	18. 様々な文化を理解し、多様な文化を持った人々のことを考える能力
	計画立案力	8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	倫理観	19. 文化・社会・自然を理解し、それぞれを関連づけて考える能力
	実践力	9. 目標達成に向け、実践行動する能力	社会的責任	20. 自身の倫理観に基づき、さまざまな問題を考える能力
授業科目	専門知識	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能	生涯学習力	21. 社会の一員として、社会に貢献しようとする能力
	一般教養	11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能		22. 将来の予測困難な時代の中で、新たなことを学び、挑戦する能力
	外国語能力	12. 外国語を使う能力		
	データサイエンス能力	13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力(数理・データサイエンス、情報科学など)		

【配点】

■必要度：職場(社会)で必要とされている度合い

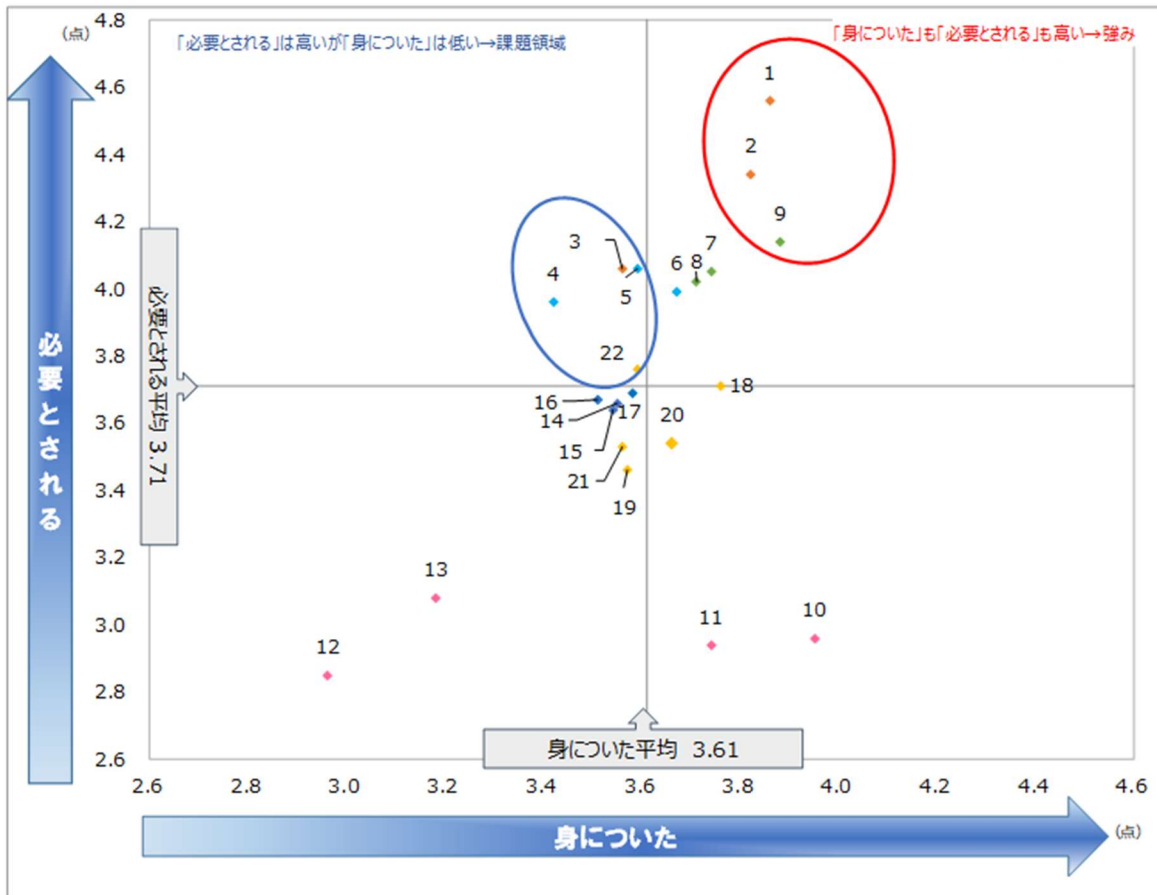
絶対に必要：5点、とても必要：4点、必要：3点、少しは必要：2点、あまり必要ではない：1点  
として加重平均値を算出。(無回答は除く)

■修得度：学生時代に身についた度合い

かなり身に付いた：5点、やや身に付いた：4点、どちらともいえない：3点、  
 あまり身に付かなかった：2点、身に付かなかった：1点  
 として加重平均値を算出。（無回答は除く）

【結果（ポートフォリオ）】

全体（N=473）



③ 活動ごとの取組熱心度と満足度

【項目】

1.専門科目の講義	2.教養科目の講義
3.外国語の学修	4.卒業論文・卒業研究・専門分野のゼミ
5.部・サークル活動	6.アルバイト
7.就職活動(国家試験のための勉強も含む)	

【配点】

■熱心度：熱心に取り組んだ度合い

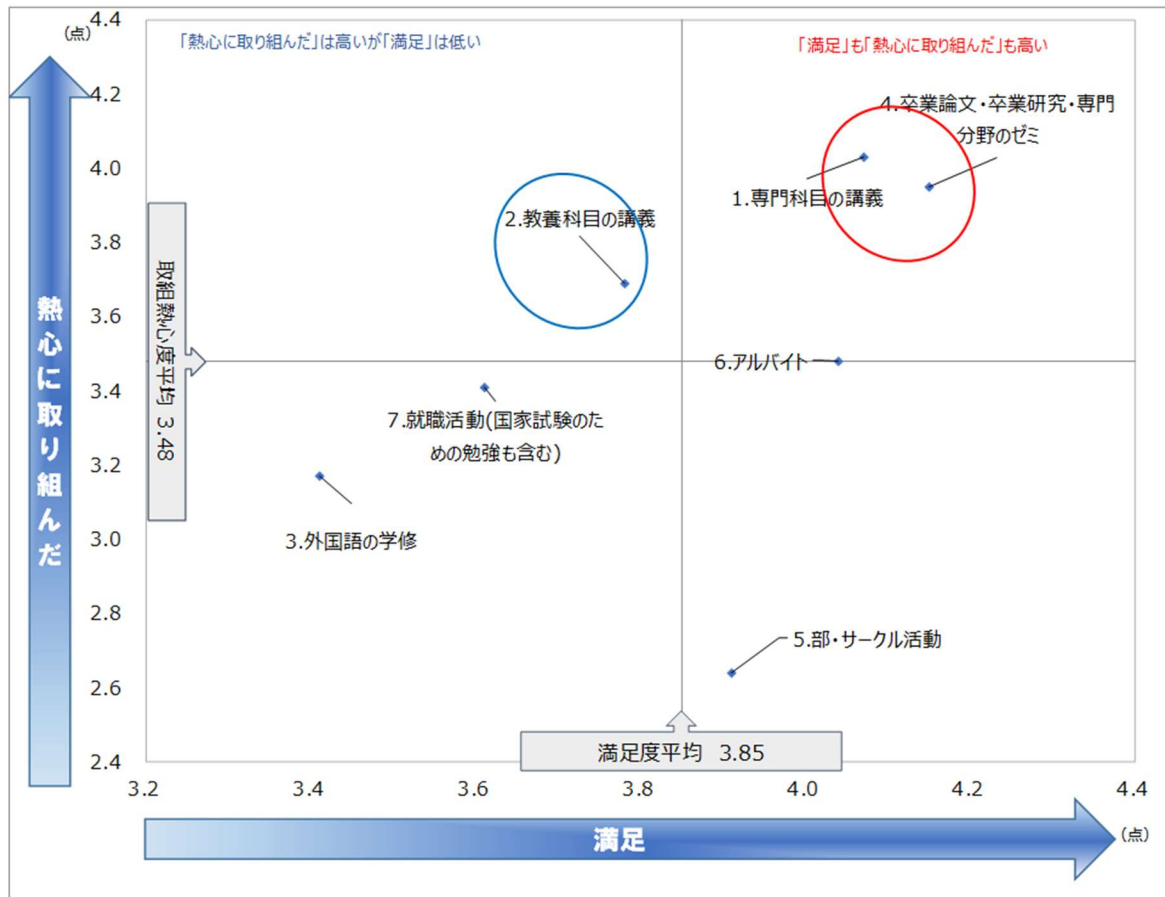
とても熱心だった：5点、やや熱心だった：4点、どちらともいえない：3点、  
 あまり熱心ではなかった：2点、まったく熱心ではなかった：1点、経験しなかった：0点  
 として加重平均値を算出。（無回答は除く）

■満足度：満足した度合い

とても満足している：5点、やや満足している：4点、どちらともいえない：3点、  
 あまり満足していない：2点、全く満足していない：1点  
 として加重平均値を算出。（経験しなかった、無回答は除く）

【結果（ポートフォリオ）】

全体(N=473)

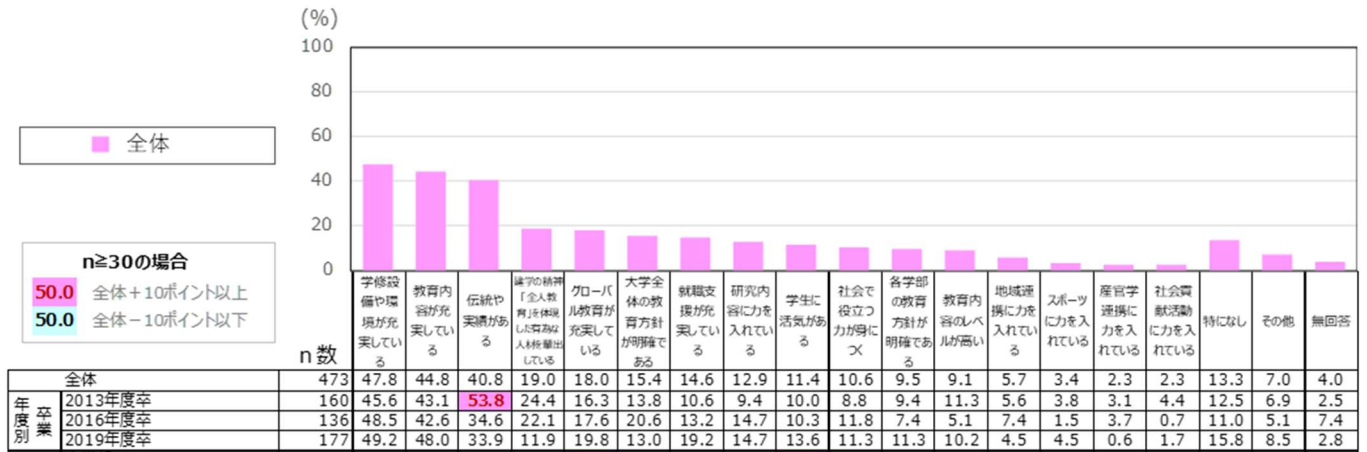


④ 本学の印象

【項目】

1.伝統や実績がある	2.教育内容が充実している
3.教育内容のレベルが高い	4.研究内容に力を入れている
5.社会で役立つ力が身につく	6.グローバル教育が充実している
7.学修設備や環境が充実している	8.地域連携に力を入れている
9.産官学連携に力を入れている	10.社会貢献活動に力を入れている
11.スポーツに力を入れている	12.建学の精神「全人教育」を体現した有為な人材を輩出している
13.大学全体の教育方針が明確である	14.各学部の教育方針が明確である
15.学生に活気がある	16.就職支援が充実している
17.特になし	18.その他
無回答	

【結果】



9. 強みと課題

■強み

以下の力が、社会（職場）で必要である感じ、在学中に身につけることができた実感している。

対人基礎力	新和力	他者との豊かな関係を築く能力
	協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める能力
対課題基礎力	実践力	目標達成に向け、実践行動する能力

■課題

以下の力が、社会（職場）で必要であると感じたが、在学中に見つけることができなかつた実感している。

対人基礎力	統率力	場を読み、組織を動かす能力
対自己基礎力	感情制御力	ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
	自信創出力	前向きな考え方、やる気を維持する能力
大学独自項目	生涯学習力	将来の予測困難な時代の中で、新たなことを学び、挑戦する能力

# 企業調査

1. 調査目的：主に基礎力の視点から、卒業生の輩出先である企業(産業界)が求める能力並びに卒業生の印象を明らかにする。
2. 調査対象：玉川大学の卒業生採用実績のある企業
3. 調査方法：インターネットによるアンケート調査（委託先：株式会社リアセック）
4. 調査期間：2023年1月13日～2月8日
5. 発送数：484社（不達14社）
6. 有効回答数：154社165人（重複や無効回答を除く。但し同一企業の別担当者からの回答は含む。）
7. 有効回収率：35.1%（165/470）

## 【回答者内訳】

1. 農林漁業	1	9. 不動産業、物品賃貸業	4
2. 建設業	7	10. 学術研究、専門・技術サービス業	3
3. 製造業	30	11. サービス業	26
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	12. 教育、学習支援業	9
5. 情報通信業	13	13. 医療、福祉	4
6. 運輸業、郵便業	3	14. 公務員（1～13にあてはまるものは除く）	5
7. 卸売業、小売業	43	15. その他	6
8. 金融業、保険業	10	全体	165

## 8. 回答結果

### ① 社会（職場）で必要とされている能力と本学卒業生の修得度

#### 【項目名】

	ラベル	項目名		ラベル	項目名
コンピューター	対人基礎力	1. 他者との豊かな関係を築く能力		授業科目	10. 大学の専門科目で学んだ知識・技能
		2. 目標に向けて協力的に仕事を進める能力	◆		11. 大学の教養科目で学んだ知識・技能
		3. 場を読み、組織を動かす能力			12. 外国語を使う能力
	4. ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力		13. 数理的思考力とデータ分析・活用能力(数理・データサイエンス、情報科学など)		
	対自己基礎力	5. 前向きな考え方、やる気を維持する能力	◆	リテラシー	14. 課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
		6. 主体的に動き、よい行動を習慣づける能力			15. 収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握する能力
	対課題基礎力	7. 様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力			16. 現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
		8. 課題解決のための適切な計画を立てる能力	◆	17. さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、具体化する能力	
		9. 目標達成に向け、実践行動する能力		大学独自項目	18. 様々な文化を理解し、多様な文化を持った人々のことを考える能力
		19. 文化・社会・自然を理解し、それぞれを関連づけて考える能力			
		20. 自身の倫理観に基づき、さまざまな問題を考える能力			
		21. 社会の一員として、社会に貢献しようとする能力			
		22. 将来の予測困難な時代の中で、新たなことを学び、挑戦する能力			

#### 【配点】

##### ■必要度：新卒採用の際の必要とする度合い

求めている：5点、ある程度求めている：4点、どちらともいえない：3点、あまり求めていない：2点、求めていない：1点

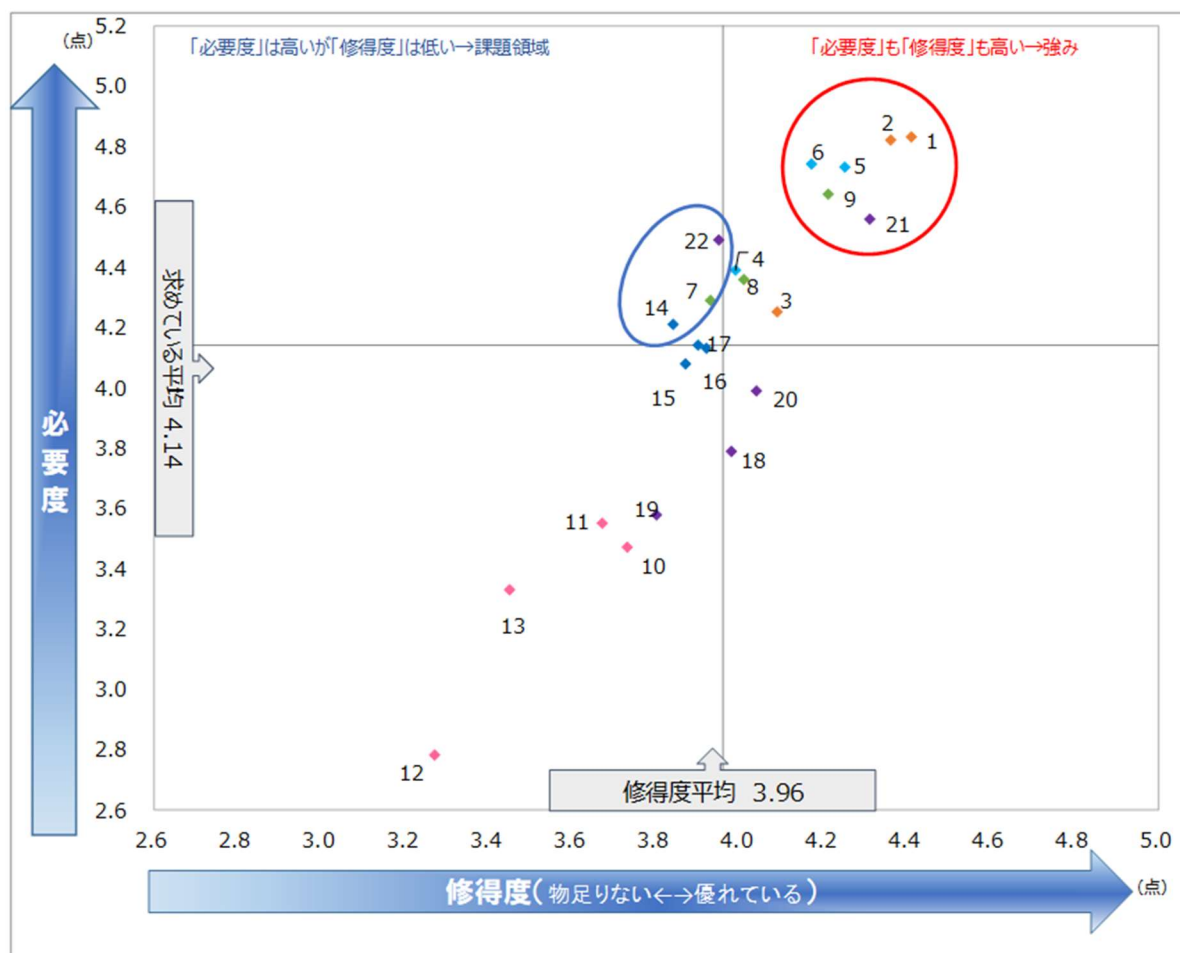
として加重平均値を算出。（無回答は除く）

##### ■修得度：本学卒業生の印象の度合い

優れている：5点、やや優れている：4点、どちらともいえない：3点、やや物足りなさを感じる：2点、物足りなさを感じる：1点

として加重平均値を算出。（わからない、無回答は除く）

【結果（ポートフォリオ）】

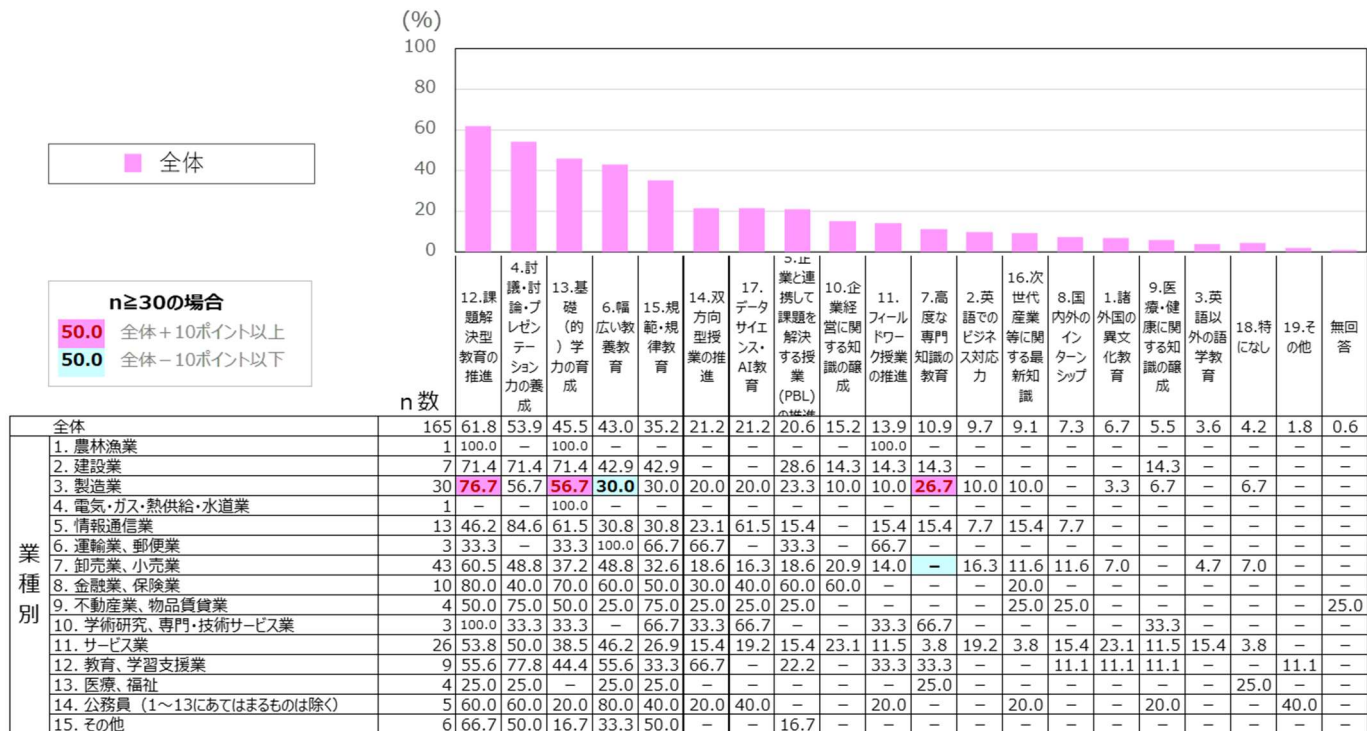


② 本学のカリキュラムに期待すること

【項目名】

1.諸外国の異文化教育	2.英語でのビジネス対応力
3.英語以外の語学教育	4.討議・討論・プレゼンテーション力の養成
5.企業と連携して課題を解決する授業(PBL)の推進	6.幅広い教養教育
7.高度な専門知識の教育	8.国内外のインターンシップ
9.医療・健康に関する知識の醸成	10.企業経営に関する知識の醸成
11.フィールドワーク授業の推進	12.課題解決型教育の推進
13.基礎(的)学力の育成	14.双方向型授業の推進
15.規範・規律教育	16.次世代産業等に関する最新知識
17.データサイエンス・AI教育	18.特になし
19.その他	無回答

【結果】

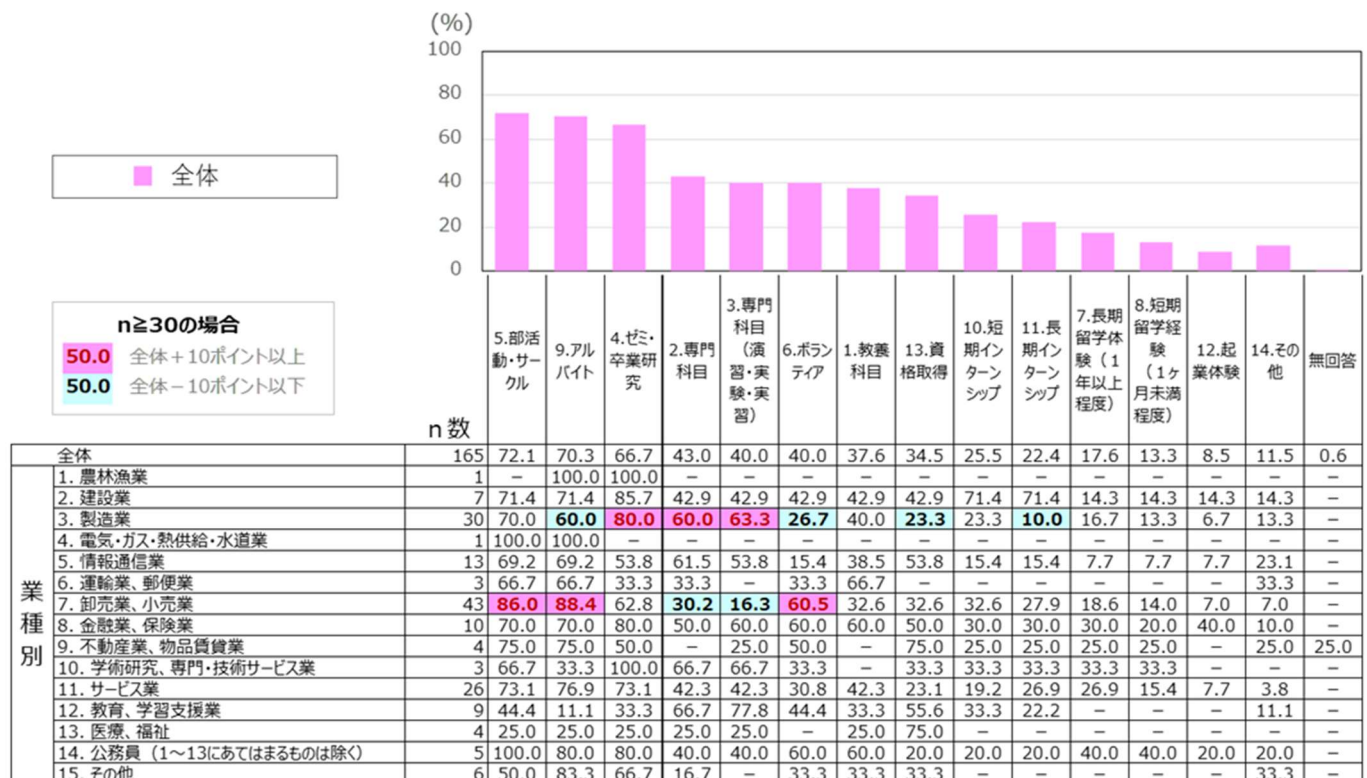


③ 新卒採用の際に重視する在学中の経験

【項目名】

1. 教養科目	2. 専門科目	3. 専門科目（演習・実験・実習）
4. ゼミ・卒業研究	5. 部活動・サークル	6. ボランティア
7. 長期留学体験（1年以上程度）	8. 短期留学体験（1ヶ月未満程度）	9. アルバイト
10. 短期インターンシップ	11. 長期インターンシップ	12. 起業体験
13. 資格取得	14. その他	無回答

【結果】



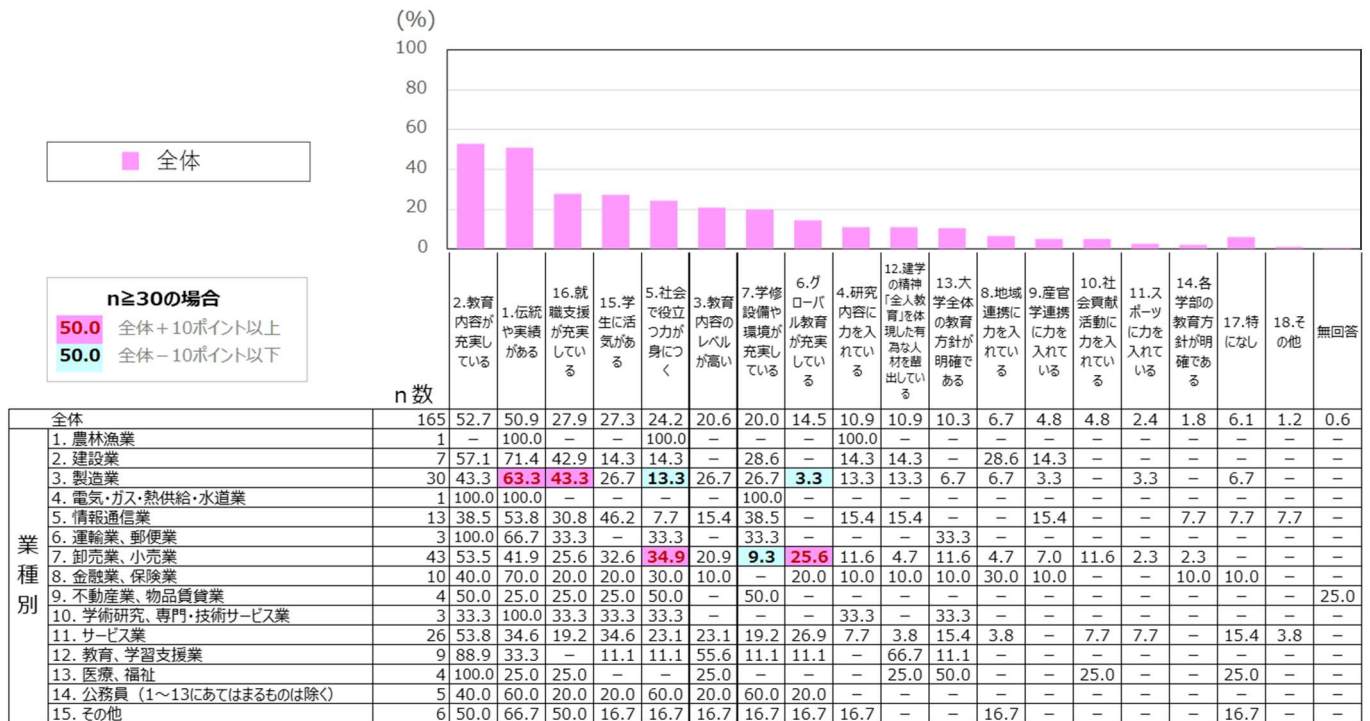


④ 本学の印象

【項目】

1.伝統や実績がある	2.教育内容が充実している
3.教育内容のレベルが高い	4.研究内容に力を入れている
5.社会で役立つ力が身につく	6.グローバル教育が充実している
7.学修設備や環境が充実している	8.地域連携に力を入れている
9.産官学連携に力を入れている	10.社会貢献活動に力を入れている
11.スポーツに力を入れている	12.建学の精神「全人教育」を体現した有為な人材を輩出している
13.大学全体の教育方針が明確である	14.各学部の教育方針が明確である
15.学生に活気がある	16.就職支援が充実している
17.特になし	18.その他
無回答	

【結果】



9. 強みと課題

■強み

以下の力が採用時に重視され、本学卒業生が評価されている。

対人基礎力	新和力	他者との豊かな関係を築く能力
	協働力	目標に向けて協力的に仕事を進める能力
対自己基礎力	自信創出力	前向きな考え方、やる気を維持する能力
	行動持続力	主体的に動き、よい行動を習慣づける能力
対課題基礎力	実践力	目標達成に向け、実践行動する能力
大学独自項目	社会的責任	社会の一員として、社会に貢献しようとする能力

## ■課題

以下の力が採用時に重視されるが、本学卒業生が物足りないと評価されている。

対自己基礎力	感情制御力	ストレスのかかる場面でも、気持ちの揺れを制御する能力
対課題基礎力	課題発見力	様々な角度から情報を分析し、課題の原因を明らかにする能力
リテラシー	情報分析力	課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査・整理する能力
	課題発見力	現象や事実のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定する能力
大学独自項目	生涯学習力	将来の予測困難な時代の中で、新たなことを学び、挑戦する能力

## 総括

両調査とも強みである項目：「対人基礎力：親和力・協働力」、「対課題基礎力：実践力」

両調査とも課題である項目：「対自己基礎力の感情制御力」、「大学独自項目の生涯学習力」

卒業生調査では課題であるが、企業調査では強みである項目：「対自己基礎力の自信創出力」

※強みや課題それぞれにおいて、「ジェネリックスキル≡社会人基礎力、汎用的技能」が多く見受けられた。